

①題：「探し求めて手に入れる」(27分)

説教者 : 青木泰樹

聖書朗読 : ヨハネによる福音書 15 章 16,17 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『キリストの実物教訓』95.96 頁

「神は人類を汚れた無価値なものとは思われない。神はキリストの中にあるものとして、人類をながめ、贖罪愛によって、回復の望みのあるものとしてお認めになる。神は、この真珠を買い求めるために、宇宙のすべての富を提供なさったのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 6 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 284 番

②題：「またおいでになる」(32分)

210403

説教者 : 花田憲彦

聖書朗読 : 使徒行伝 1 章 11 節

瞑想の言葉 : Marvin Moore, The Refiner's Fire, 1990, 99 頁

「恩恵期間の終了とは、神の側で独断的に決めてカーテンを下ろしてしまうようなものではない。恩恵期間の終了とは、実は人間の決定なのである。……キリストに来る者が一人でもいるなら、神は恩恵期間を閉じられないことを理解してほしい。神の子らの一人が霊的成長の過程にあって、まだ神の印を受ける用意ができていない間、神が恩恵期間を閉じられることはないのである。もしあなたが真心からイエスを愛し、永遠にわたって彼と共にいたいと望むなら、あなたの用意ができる前に恩恵期間が閉じられるかもしれないと恐れることはないのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 427 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 436 番

②題：「絶望からの救い」(22分)

210417

説教者 : 山地 宏

聖書朗読 : マタイによる福音書 9 章 18~26 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『各時代の希望』中巻 74 頁

「キリストについて信ずるだけでは十分でない。キリストそのものを信じなければならない。われわれを益する信仰は、キリストを自分自身の救い主として信ずる信仰、キリストの功績を自分自身のものとする信仰だけである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 27 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 436 番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などでご利用ください。